

## BBCニュースCOP26

悪い知らせから始めましょう。政府は、世界の気温上昇を1.5°Cに制限するという目標を達成するにはほど遠いです。

洪水、記録的な熱波、山火事などの危険な温暖化がすでに発生しており、気温はわずか1.1度上昇しています。

それが自然界です。しかし、COP26の政治的世界では、グラスゴーの日差しの中で物事は少し明るく見えています。

この会議への期待は低かったが、経験豊富なCOPオブザーバーは、世界が低炭素の未来への止められない道を進んでいることを示唆する多数の発表にうれしく驚いた。

### 「私の島の家は脅かされています-私たちは走る丘がありません」

#### ネットゼロとはどういう意味ですか？

#### COP26プライベートジェットの気候への影響は何ですか？

「会議の雰囲気は良い」と、元EUの気候変動に関する主任交渉者であるピート・ベッツ氏は私に語った。

「ゼロカーボンの世界への傾向は不可逆的です。問題は、いつそこに着くか、そしてそれまでに気候はどのようになるかということです。」

彼の相対的な楽観主義は、これまでのサミットで行われたいくつかの発表によって説明することができます。

- お金：**豊かな国々は、2020年までに約束された1,000億ドルを貧しい国々に不器用に届けることができませんでしたが、しかし、元イングランド銀行総裁のマーク・カーニーは クリーンテクノロジーのサポートに向けて数兆ドルの民間資本を動かす。彼は130兆ドル、つまり世界の民間資産の約40%を管理している450の組織を集めており、再生可能エネルギーなどのゼロカーボンへの移行を支援する活動に資金をシフトすることを計画しています。批評家は、金融機関が化石燃料への投資を許可されると不満を述べていますが、それは深刻で斬新な提案です
- 木：**100カ国以上 2030年までに森林破壊を逆転させると約束した。公約には、約140億ポンド（192億ドル）の公的および私的資金が含まれています。以前にも同様のイニシアチブを見てきましたが、これは資金が豊富です
- メタン：**世界で2番目に悪い温暖化ガスの排出を削減する協定があります。 メタン、2030年までに30%。大きな排出国である中国、ロシア、インドはまだ署名していませんが、後で参加することが期待されています
- 市場の創造：**英国が主導し、中国、インド、米国を含む40カ国が、新技術の市場を創出するための基準、インセンティブ、規則を課します。それが機能する場合、これは変革をもたらす可能性があります。パートナーは、たとえば、石炭を使用せずに一定の割合の鋼が製造される日付に同意する場合があります。これにより、投資家は革新的な技術の市場が利用可能になることを確信でき、世界中のクリーン技術の価格を大幅に下げることができます。
- クリーンエネルギー：**各国がクリーンに移行するのを支援するための新しいパラダイムは何でしょうか エネルギー、南アフリカは石炭を捨てるために60億ポンド（85億ドル）を得るでしょう、フランス、ドイツ、英国、米国、EUとの契約で
- インド：**モディ首相が 2030年までの低炭素電力の積極的な目標。彼が2070年まで温室効果ガスを終わらせるつもりはないのではないかと心配する人もいますが、それまでに世界は完全に変化し、インドは経済的に介入することを余儀なくされる可能性があります
- 英国の規則：**ほとんどの英国の大手企業と金融機関は 彼らが気候変動の目標をどのように達成するつもりかを示すように求められた。計画は専門家パネルに提出され、単なるスピンではないことを確認します

気候変動に関するキャンペーンを行っているクリスチャンエイドのカットクレイマーは、多くの発表は前向きな兆候だと述べています。

「COP自体はコンセンサスプロセスであるため、最小公分母です。私たちが目にしているのは、COPに追加された他のイニシアチブです。実際の勢いがあります。」

これまでのところ、それでは。しかし、失望がありました。

中国は2030年までに排出量のピークへの提案を改善すると予想されていました。少なくともトークンジェスチャーが予想されていましたが、何もたらされませんでした。

COPの唯一の慰めは、他のいくつかとは異なり、中国は通常、約束を過剰に履行していることです。

米国を取る。ジョージ・W・ブッシュ前大統領は京都議定書から撤退し、ドナルド・トランプは米国をパリ協定から外した。

昨日バージニア州で共和党の知事が選出されたことで、トランプ氏が復帰する可能性が懸念され、気候変動対策が再び取り消される可能性があります。

交渉担当者は、各国が互いの炭素削減計画を信頼できるように、ルールブックを整理するという厄介な作業に取り掛かることになります。

彼らは貧しい国々のための政府財政の欠如と世界的な暖房に適応するためのより多くのお金の必要性について漕ぐでしょう。そして、彼らは「損失と損害」、つまり貧しい国々の排出によって彼らに与えられた危害を補償するためのコードを望んでいます。

バージニアのニュースは信頼を助けることはありませんが、多くのCOPの基準からすると、これは良いスタートを切ったと感じています。

**Roger Harrabinは、35年間気候変動を取り上げてきました。彼が報告した最初の国連気候会議は、リオデジャネイロ地球サミットでした。**